

- ◆事業名：シーバード茅ヶ崎「茅ヶ崎市立第一中学校 生徒海のパトロール体験」
- 実施日：2014年9月20日(土)
- 会場：神奈川県茅ヶ崎ヘッドランドビーチ

四季を通じて多くの人達が訪れる身近な海岸で  
授業の一環として海の安全を守る体験学習

9月20日(土)、茅ヶ崎ヘッドランドビーチから国道134号線をはさんである茅ヶ崎市立第一中学校の生徒15人が、授業の一環として海、海岸の安全を守るパトロールの体験をしました。

生徒達はパトロールや救助の方法のレクチャーを受けた後、学年ごとに分かれてヘッドランドビーチのゴミひろい、監視業務、レスキューボードの体験、IRB(インフレーターボート)に乗って沖まで出る体験、PWCパトロール見学などをローテーションで行いました。

実際にIRBで沖に出たとき、魚の群れを追い込んでいたと思われる全長3メートルものハンマーヘッドシャークが現れ、シーバード茅ヶ崎の隊員たちがサーフィンをやっている人達に注意を促すという、奇しくもリアルなパトロール体験となりました。(こんなに大きなサメはこの辺りでは珍しいとのこと)

「部活動でジョギングしたり、遊んでいるこの浜でのパトロール活動は子供達にとって貴重な体験となりました。この茅ヶ崎で育つ子どもたちにとっては、海があって当たり前なので、普段あまり海を意識していません。大人になって、さらにこの素晴らしい茅ヶ崎の海を大切に実感すると思います」と、同中学の1年生の担任・稲垣健一先生。また男子生徒の一人は「近くに海があって、ここでしかできない体験だからと思い安全パトロールの体験を選びました。大きなサメを見ることもでき、海は生き物がいると改めて実感しました。いつまでも沢山の生物が住めるようにきれいで、安全な海を守らなくてはと思いました」と語ってくれました。

シーバード茅ヶ崎の小川恵一郎代表は「今日、指導スタッフとして参加しているサーフ90茅ヶ崎のパトロール隊員には、十数年前にこの授業を受けたという人が複数います。大人になって地元に戻ってきてこうしてボランティア活動に参加してくれます。海好きの子どもたちが少しでも増えてくれたらいいですね」と、子供の頃から身近に海を体験する大切さを伝えていきたいとの思いから活動しているとのことでした。



レスキューボード、IRB、PWCを3班でローテーションしながら体験した



PWCのサイレン、拡声器、LEDの点滅などを体験する中学生

貴重な体験を今後に活かしてほしいと挨拶するシーバード隊員達



あいにく小雨降る中の体験となったが、ウエットスーツにシーバードのピブスを付けた生徒達は真剣そのもの。ときにはシーバード茅ヶ崎の隊員に質問しながら海の安全を守る大切さを学んでいた



シーバードジャパンは現在全国20拠点で活動中。  
水辺の安全をはじめ、子供たちの水辺教育への貢献など  
水上オートバイでの地域貢献活動を目指しています。